



お江戸舟遊び瓦版 966号

水彩都市江東 ころろ美しい日本の再生 安全・安心まちづくり
お江戸観光エコシティ・お江戸舟遊びの会 江東

シヨシヤナ・ズボフ 野中香方子訳 「監視資本主義 人類の未来を賭けた闘い」 東洋経済新報社 21.7.8 (15)

第3部 第3の近代のための道具主義の力

第15章 集団としての道具主義者

I. 道具主義の司祭

MIT メディアラボのペントランドは学生や研究者と協力して、道具主義社会の理論を積極的に研究し、数々の技術革新と実践的応用を行ってきた。世界経済フォーラム、グーグル、日産等を含む多数の機関にアドバイスする著名な学者であり、排他的な司祭たちを統括する大司祭のような存在だ。「ウェアラブルのゴッドファーザー」と呼ばれ、とりわけグーグルグラスの生みの親と見なされている。1998年に、ウェアラブルは「人間の感覚を拡張し、記憶を改善し、社会生活を助け、心を落ち着かせ、冷静でいられるようにする」と予言した。それを助けたのは、ビッグデータ、ユビキタスなデジタル機器、高度な数学、抜本的な理論、多くの共著者、潤沢な資金、および企業の行為にある友人である。ペントランドはユートピアの設計者にして高尚な思想家であり、動物の研究を人間に応用することをためらわなかった。自らの社会理論を「社会物理学」と呼んでいる。



II. ビッグアザーが社会を食べる時——社会関係のレンダリング

- ペントランドは20年かけて、人間の行動、社会的行動を予測する手段と方法の開発に励んだ。データとコンピューターが普及しても「社会」は捉えどころのない領域だった。それに対して「ソシオメーター」を導入し、人間集団の「構造と動的な関係」を推測する機械学習技術を用いた。
- ますます、「ユビキタスなインフラ」になってきた携帯電話のデータをベースに「リアリティ・マイニング」と呼ぶ情報システムを開発し、個人と組織の行動の規則と構造を明らかにした。そこから、行動余剰の捕捉と分析を進展させ、行動の強奪の舞台がバーチャルな経験からシフトする先を指し示した。行動測定プラットフォームを構築し、全世界の数百の研究グループに提供した。
- 2011年に「社会の神経システム—有効な政府、エネルギー、公衆衛生システムの構築」を著し、研究が善意によるものであると宣言した。啓蒙主義と政治経済学から受け継いだ概念や枠組みを批判し、社会よりも「人口」、意味よりも「統計」、法よりも「計算」を好んだ。「階層」は行動パターンによってコード化され、消費者の好み、政治的見解を正確に予測した。人々を動かす誘因を「社会的効率」の原則によって説明し、システム全体にも価値を齎さなければならないとする。

III. 道具主義社会の原則

ペントランドは、「社会現象は、個人間の数十億の小さな取引が集まったものに過ぎない……」と主張する。ソーシャル物理学が古い考え方に取って代わるには、この数十億の小さなものについての完全な知識が必要とされるからだ。「ビッグデータは、個人の間で生じる膨大な量の交流を分析して、社会の細部をありのままに見る機会を与えてくれる。この『神の視点』を見通すことができたら、社会がどのように動いているかを真に理解し、問題を解決する手段を講じることができる」。人間の行動に関する、信じられないほど豊かなデータを、継続的に利用できるようになる。

1 大義（より多くの人々の利益）のための行動

- 「文化を意図的に設計し、人間行動を制御することは、人間という種が発展し続けるために欠かせない」と、スキナーは『自由と尊厳を超えて』に書いている。人間の行動を大義のために変えることの緊急性は、『ウォールデンツウー』で明言している。

- ・ ペントライドは、**道具主義社会の誕生**を、印刷機やインターネットの発明に匹敵する**歴史的転換点**と見なしている。道具主義社会は、人類史上初めて、「本当に私たち自身を知り、社会がどのように発展するかを理解するために必要なデータを手に入れようとしている。」「人間行動のデータが途切れなく得られる社会」では、交通からエネルギー使用、病気、路上犯罪が正確に予測され、「世界から**戦争や金融恐慌は消え、感染症は迅速に検出**され、その広がりも阻止され、エネルギー、水、その他の**資源の浪費を防ぐ**ことができるだろう。政府は解決策を齎す存在になるだろう」。

2 政治に代わる計画

スキナーは、行動を完璧に予測する計算能力を切望した。**完全な知識が集団的意思決定の手段**になり、**政治に取って代わる**ことができる。資本主義と社会主義はどちらも**経済成長重視**という過ちに汚染されており、それが**過剰消費と環境汚染**を生み出していると。ペントランドは、道具主義による統治の基盤として、**計算の真理**が政治にとって代わらねばならないと主張する。

IV. 巢の第3の近代

- ・ 1世紀前、**資本主義は大量生産の新たな手段**となり、大衆社会というイメージを形成した。今日、監視資本主義は未来のための新たなテンプレートを提供する。それは「**機械の巢**」だ。その巢では、他者に利益をもたらす**完全な知識の代償**として、私たちの**自由が没収**される。これはかつてない社会革命だが、ユートピアのレトリックと、高速で広がる応用ユートピスティックスの霧が、全容を隠している。有力な監視資本家と、開発者からデータ科学者迄を含む多くの実践家のコミュニティである。**道具主義社会**は、大切にしてきたものを**全てひっくり返し、裏返し**になっている鏡張りの**ビックリハウス**だ。

第16章 巢の中の生活

I. 炭鉱のカナリア

- ・ ペントランドは**フェイスブック**を、社会的圧力と調整にとって**最適な環境**だと称賛する。フェイスブックは、若者の心理的ニーズに食らいつくことを学び、個人のアイデンティティと自律性が育つプロセスに、新たな問題を生じさせ、若者の感情に悪影響を及ぼすことが報告されている。依存症、執着、退屈、混乱、苦痛、孤立の感情的な苦痛等などの要因になっている。
- ・ 2017年11歳から21歳のイギリス人女性を対象に「外から自分を見る」ことの心理的影響を調査し、自分と自分の人生を、他の人と比較するようになり、**プレッシャー**を感じると観察した。

II. 手と手袋： 手と手袋のような、若者とテクノロジー依存症との関係は、ゲーム業界で創出された。ゲーム業界は、依存症を無限の資源と見なし、**カジノと関係**があると予想していた。

III. 人生の証明

IV. 次の人間性

行動工学においてフェイスブックがなしとげた重要な革新は、「**いいね!**」ボタンだ。「いいね!」ボタンをすれば、ユーザーの「手の内」が見えることになる。

第17章 聖域を持つ権利

I. ビッグアザーが社会を乗っ取る：

デジタル時代が進展し、監視資本主義が広まるにつれて、「**聖域としての正義**」という解決策は通用しなくなった。ビッグアザーは、衝撃と畏怖という戦術で正義への配慮を圧倒する。

II. 力の新たな開拓地での正義： 既存の法に挑戦するデジタルの力を評価する時の焦点は、米国憲法修正第4条、国と個人の関係の制限である。

III. すべてのユニコーンにはそれを追うハンターがいる

- ・ 監視資本主義の飼いならしに失敗したら、我々にはどのような生活が残されるのだろうか。監視資本主義と道具主義の力から身を守る術がないまま、「**出口のない**」状況に陥れられるのだろうか。
- ・ 人間の未来へ繋がる道を保証する総合的な宣言がない中で、私たちを社会的な軍拡戦争へ向かわせる。**無法な機械**とその主人から逃れるために、自分たちの暮らしに隠れる方法を見つけようとし、聖域への永続的な欲求を満たすために、道具主義者の巢の原則とビッグアザーの食欲さを拒否するために、抵抗活動に従事するが、それを追うハンターがいる。